

第2回筑紫野市事務事業外部評価委員会会議録（要点記録）

【開催日時】 令和4年10月13日（木） 9：00～12：25

【開催場所】 市役所403会議室

【委員出席状況】

《出席委員》坂本委員、中島委員、牧野委員、
内川委員、西村委員、二宮委員（名簿記載順）以上6名
《欠席委員》0名

【事務局出席者】 中尾企画政策課長、齊田企画政策担当係長、
鶴澤企画政策担当主任、井上企画政策担当主事 以上4名

【所管課出席者】

（環境課）虫明環境課長、荒井環境保全・廃棄物担当係長
（秘書広報課）亀井秘書広報課長、山崎広報広聴担当係長
（総務課）平嶋総務課長、市川総務担当係長、高原総務担当主事

【市民傍聴人】 0名

【職員傍聴人】 4名

【会議概要】

1. 開会

事務局の司会により開会

2. 事務連絡

事務局より本日のタイムスケジュールについて説明。

3. 第1回委員会会議録について

事務局より説明。

委員確認により修正等なし。

4. 議事

（1）所管課ヒアリング

①環境問題啓発事業（環境課）

所管課による自己紹介及び事業内容の説明

- (委員) 春日市が行っている環境教育支援（各学校 10 コマ）とは具体的にはどのような内容か。
- (所管課) 学校に出向いて行う、いわゆる出前講座のようなものを実施したものと考えています。
- (委員) 筑紫野市と同じような内容ということか。
- (所管課) 詳細までは把握していませんが、筑紫野市の出前講座と同じようなものではないかと考えております。
- (委員) 各学校とは、各小学校と理解してよいか。
- (所管課) 把握していません。
- (会長) 春日市がどのような内容で実施しているのか次回の委員会までにご用意いただきたい。
- (委員) 環境教育は市内全小学校が対象になっているが、実際に出前講座が実施されたのが令和3年度は全体の約5%のみで非常に少ないと感じる。もし、春日市が市内の全小学校にこの事業を行っているのであれば、筑紫野市でも同じような取り組みができるのではないか。国連サミットにおいてもSDGsの国際目標で非常に力を入れている分野でもあるので、ぜひすべての小学生が環境教育を受けられるような取り組みをしていただきたい。
- (会長) 例えば、学校の先生たちが教えるのか、NPOの方に頼んで総合学習の時間で行うのかなど、実施するための事業費なども含めて春日市の内容が分かるとよい。
- (委員) 天拝小学校などはホテルの観察会など、地域と一緒に取り組んでいるので、そこに市も協働していくことはできないか。
- (委員) それぞれの地区の状況を一番知っている各コミュニティの環境部会と協力してカリキュラムを組むことはできないか。
- (会長) もう少し子どもたちに積極的なアプローチあるいは全員が学ぶような機会を市が設けた方がよいのではないかとということだが、所管課としてはどのように考えているか。
- (所管課) 環境副読本については小学4年生全員にお配りしています。出前講座については、開始から3年経ちますがコロナ禍ということもあり、全学校を対象に呼びかけを行っていますが、希望する学校が少なくこのような結果になっているところです。
- (会長) おそらくこの事業は、どこまでやるかという上位方針がないとなかなか現場としても事業規模の検討が難しい部分があると思う。市としての方針はどのような方向性か教えてほしい。
- (所管課) 国際的に見ても脱炭素に向けて動いているところですので、本市としても市民や事業者の皆さんと一緒に取り組んでいかなければならないと思っています。
- (会長) 各委員からの意見で学校教育との連携という話があったが、教育委員会

事務局との連携は十分な状態か。

(所管課) このような事業を実施していることを教育委員会事務局は知っていますが、私達の方から特別に協力をお願いするようなことは現在行っていません。積極的に活用してもらうためには、そのあたりが今後必要になってくると思います。

(副会長) 出前講座は全ての小学校で実施されているわけではなく、副読本も活用されていない学校もある。制度がどのように活用され、どのように子どもたちに影響を与えているかというところまでを行政としてはリサーチすべきだ。

成果指標について、自然環境活動の参加者数と意識変化率を成果指標としていいのか疑問がある。何%の子どもたちに副読本が届いているかや、授業もしくは校外活動などの中で環境に関する取り組みに触れているか等の成果指標の設定ができないか。

(会 長) 成果指標については、様々な事業をやっているにもかかわらず観察会だけの指標になっているので、全事業の参加者数等を合計した指標にしてはどうか。まずは参加していただいたということ自体は、意識を持っているということなので、観察会以外のすべての参加者も加える方がよいと考える。ギガ端末を活用し、集計の手間を省いたアンケート調査により、子どもたちの意識変化や小テストによる理解度を測り成果指標を設定してはどうか。また、副読本は紙の状態だが、ギガ端末でeラーニングのようなものであったり、YouTube を活用したりというような多様な教え方を検討できないか。

(委 員) 春日市はフードドライブを実施しているが筑紫野市は実施していない。市庁舎の1階ロビーにフードドライブコーナーを作り、市民の方に持ってきていただくことはできるのではないか。

(会 長) 地球温暖化やフードロスなど、環境分野は社会的に関心が高い分野なので、ぜひ力を入れて取り組んでほしいが、予算や人員が限られているという問題がある。ただ必要なものに対しては、経営資源を投下していただきたい。

(委 員) コロナの影響で何年か環境フェアが中止になっているが、環境フェアに代わるものは何か考えているか。星空観察のアンケートは資料があったが自然観察会のアンケートがなかったのも確認したい。

(所管課) 持ち合わせがありませんので、確認させていただきます。

(会 長) アンケートの資料があれば、先ほどの春日市の環境教育の資料と一緒に事務局に渡していただきたい。

(所管課) 環境フェアの代替として、昨年度についてはダンボールコンポストと花の寄せ植え講座、自然観察の始め方講座、片付けでごみの減量講座という3つの環境フェア講座を開催しました。

(会 長) 環境は非常に重要な分野となってきたため、もう少し力を入れて取

り組んだ方がいいのではないかとというのが各委員の総意であり、議論したことを整理して最終的に外部評価委員会の意見とさせていただきたい。

②外来生物等駆除事業（環境課）

所管課による事業内容の説明

- （委員）施策・基本事業の成果指標に（騒音・振動、悪臭）と（草木の繁茂等）と記載があるが、外来種の項目を追加した方がよいのではないかと。
- （会長）総合計画策定時は、問題となっていなかったがここ何年かで外来生物が増加しているということもある。次の計画には騒音などの個別の指標よりも、総合計画の成果指標は、生活環境に関する苦情相談件数のような全部の項目が入るような指標にしてはどうか。
- （委員）講師謝金は何に対するものか。
- （所管課）令和4年度に外来生物の駆除方法や基本的な知識を学んでいただく研修会を予定しており、その講師費用です。
- （委員）広報及び SNS による情報発信の一覧の中にアライグマの記載がない。私もアライグマが市内に生息していることを知らなかったし、周りも知らない人が多い気がするので、情報発信をもっと行ってほしい。農政課の有害鳥獣対策事業との区別について、環境課の対象はアライグマのみとなっているが、アライグマ以外の動物を捕獲した場合は逃がすということか。農政課で駆除対象になっているものは、農政課に引き渡すなどしていないのか。
- （所管課）情報発信の一覧には新たに掲載した記事のみを記載しており、アライグマの記事のように以前から継続して掲載している記事は入っていません。今後も掲載情報のブラッシュアップを心がけていきたいと考えています。有害鳥獣対策事業については、農政課の対象となる動物がいた場合は農政課に連絡を取り、連携して取り組んでいます。
- （委員）セアカゴケグモが発生する時期やケシや大麻が成長する時期など、シーズンに合わせた情報を、スマホで実物と見比べられるように写真を入れて SNS などで発信してはどうか。
- （会長）広報紙は月 1 回の発行で編集にも時間を要するため、リアルタイムな情報にならない。タイムリーな情報をスマホで見られるように LINE や SNS で発信すると外来生物に関する喚起になる。
- （委員）外来種は生態系を破壊してしまう可能性があるため、外来種と在来種の違いについても市民に発信するとよいのではないかと。
- （副会長）外来生物が増えるタイミングやニュースに取り上げられたタイミングで、情報発信することが重要だと思う。成果指標の相談件数の目標値が 5 件となっているが、5 件程度に抑えたいものか、5 件より減らしたいものどちらか。
- （所管課）5 件程度に減らしていきたいという指標と考えています。

- (副会長) 例えば、性犯罪の相談においても、相談しやすい環境があることはよいことだが、相談件数が上がるということは裏返すとそれだけ性犯罪あるということだ。そのような意味では、相談件数という成果指標が適切か疑問ある。
- (会 長) 有害鳥獣の場合には、被害額を成果指標に設定していると思うので、外来生物でも被害額を設定できるのではないかと。成果指標については検討していただきたい。
- (委 員) 毎年6月と10月のごみゼロ運動の前に、オオキンケイギクは特定外来生物で除草の対象ですと市民に周知すれば、行政の手を借りずに除草ができるのではないかと。
- (所管課) そのようなあり方を目指したいと思っておりますが、オオキンケイギクは処理の仕方に工夫が必要なため、環境衛生推進委員の会議の中などで広めていきたいと考えています。
- (会 長) 被害件数は動物向けの指標になるので、市内で確認されている外来生物種数を成果指標としてはどうか。
アライグマに関する調査をしているが、有害鳥獣対策事業のように生息調査というステップは飛ばして、シンプルに捕獲するような方向性は考えていないのか。
- (所管課) 令和2年度と3年度と生息調査をして市内全域にアライグマがいることが確認できましたので、本来であれば長期的に計画を立てて防除をしていくところですが、現実的には発見次第駆除していくことになると思います。また、アライグマも市内外を行き来しますので、周辺自治体と連携しながら進めていく必要があると考えています。
- (会 長) 件数が増えると他市のように職員が殺処分しなければならなくなる可能性があるのと、なるべく早期に周辺自治体も含めた地域全体で取り組んでもらいたい。

③不法投棄対策事業（環境課）

所管課による事業内容の説明

- (委 員) 不法放棄は、人の移動が多い年度末や年度初めに増える傾向があるのか。
- (所管課) 一概には言えません。
- (委 員) 引越しに伴い粗大ゴミが出た際に、処分の手続きが面倒で置いていくようなイメージがある。移動時期に合わせて粗大ゴミの捨て方についてのポスターを掲示したり、クリーンヒル宝満にごみを持ち込むための車を市が貸し出したりしてはどうか。また、スーパーやコンビニと連携して商品持ち帰り用のビニール袋を、ゴミ袋にする取り組みをしている自治体もある。このように1枚単位で買えるゴミ袋というものも有効な手段ではないか。
- (会 長) 粗大ゴミの搬入支援をシルバー人材センターに頼み、その費用を市が負

担するような方法も検討できるのではないか。なるべく正規のルートで捨てやすいような支援ができるとよい。

筑紫野市の不法投棄は全体的に減少しているのか。

(所管課) 直近の3ヶ年で見ると減少しています。

(会 長) ここなら捨てるでも大丈夫と認識されているような、大量のごみが捨てられている場所は市内にはないか。

(所管課) そのような場所はありません。捨てられているものは家庭から出される粗大ゴミが多く、産業廃棄物にあたるようなごみが捨てられていたことや、ゴミ捨て場のようにになっている場所があるというような、処理に多額の費用が必要となるケースは発生していません。

(会 長) 大きな問題となっている場所がないのは非常に良いことだ。

包括連携を締結している日本郵便からはどれくらい連絡があるのか。

(所管課) この協定は昨年度締結していますが、現在のところ通報はありません。

(委 員) 産業廃棄物が出るような業種には会社用のゴミステーションがあり、そこに蛍光管や金屑など分類の異なるごみを投げ入れられて困っているという話を聞いたことがある。そのような場所が逃げ道とならないように、市民の意識改革が必要だと感じる。

(委 員) テレビを買い替えるときなどは電気屋に引き受けてもらっていたので、家電4品目の処分方法を初めて知った。これはどこかに掲載されているのか。知らない人が多いのではないか。

(副会長) ゴミ出しカレンダーの裏面に掲載されている。

(委 員) 冷蔵庫に貼ると裏面は見えないから知らなかった。

(所管課) ホームページには詳細な情報まで載せていますが、紙面の都合上ゴミ出しカレンダーにすべての情報を載せることは難しいです。

(委 員) ゴミ出しカレンダーに、わからないことは市にすぐお問い合わせください、という一文を掲載するとよいと思う。

(会 長) ゴミ出しカレンダーにQRコードをつけてはどうか。QRコードであれば面積が小さいので、カレンダーの表面にも載せられる。

(委 員) 正しく分別されていないものの情報を発信すると、市民も意識して分別するようになるのではないか。

(所管課) クリーンヒル宝満に搬入されたゴミ袋を展開調査して、間違っって分別されているものを数値化しているところです。その際に間違っているものの傾向が分かりますので、それを生かして情報発信していきたいと考えています。

(副会長) 成果指標の撤去件数は、シルバー人材センターがパトロールに行っって撤去した件数という認識でよいか。

(所管課) この件数は通報等があっって環境課で撤去したものとシルバー人材センターが撤去したものの件数となります。

(副会長) ごみゼロ運動のときに発見された炊飯器などは、どのように処理されて

いるのか。各行政区でクリーンヒル宝満に搬入しているのか。

(所管課) 環境衛生推進員や区長からの通報を受けて環境課が撤去しています。

(副会長) ごみゼロ運動で見つけたものも撤去件数の中に含まれているということか。

(所管課) はい、含まれています。

(副会長) 県庁でも郵便局や新聞配達員など民間企業と包括協定を結んで、ゴミの不法投棄だけではなく、高齢者の見守りなどをお願いしているが、本当に機能しているかは疑問がある。配達時に見つければ通報してください、というのは配達員個人の意識によるところが大きく、末端の配達員まで徹底されていないように感じる。報告件数を求めることは難しいと思うが、協定を締結して終わりではなく、実効性が担保できるように企業と積極的にコミュニケーションをとってもらいたい。

(会 長) 優秀職員賞ということで市から褒賞を払うという方法もある。貢献した方が報われるようにしないと実行してもらうことは難しい。不法投棄だけでなく様々な業務で総合的に協定を結んでいるので、市全体でそのようなことをやってもよいのではないか。

(委 員) 日本郵便に限らず、宅配事業者にも広げてはどうか。

(会 長) 『不法投棄をしてはいけません』という看板自体が、まるで不法投棄されたような状態になっている。割れ窓理論を踏まえて、看板を交換して綺麗な状態にすることで抑制効果を発揮してほしい。余談だが、東北のある自治体が道路脇に小さい鳥居を置いてみたところ、ごみが激減した事例があり、国土交通省でも導入している道路があるようだ。

(副会長) 鳥居と同じような対策として、福岡県内では、しめ縄を使っている地域がある。

(委 員) ソーラー式センサーライトのようなものも、暗がりでごみを捨てようとすると、誰かに見られているような気がして捨てにくいという効果があるのではないか。

(会 長) しめ縄や鳥居、センサーライトなど様々なものが出ているので、検討していただきたい。

④広報広聴事務事業（秘書広報課）

所管課による自己紹介及び事業内容の説明

(委 員) 成果指標にマスコミへの情報提供件数が設定されているが、これは市の情報提供という実施であり、do にあたる部分だと思う。成果になるテレビや新聞でどれだけ取り上げられたかという指標はあるか。

(所管課) 取り上げられた件数は集計できていません。令和 4 年度で把握している範囲では、半年間で提供したうちの半分程度は取材を受けているという印象です。なかなかテレビでの放映はありませんが、新聞に取り上げていただいたり、ケーブルメディアに取材していただいたり、媒体にこだ

わらなければ5割以上は取り上げていただいていると思います。

- (会 長) プレスリリースとして様々なものを提供しているため把握が難しいということか。
- (所管課) それぞれの所管課では把握していますが、秘書広報課で取りまとめまで行っていないので、私たちが新聞などをチェックして把握できた件数というのが、提供件数の半分程度というところではあります。
- (会 長) 広告代理店では、筑紫野市が入っている新聞やテレビを報告してくれる有償サービスもあり、民間企業の広報部門では活用している。
- (委 員) 福岡市の広報課は、前日の夕刊と当日の朝刊を毎日スクラップしている。それを集計すれば、紙面購入やテレビコマーシャルに換算したらどれくらいになるのかという費用対効果を把握できる。少なくとも新聞は自分たちで把握できるはずだ。
- (所管課) 新聞は5紙取っており、朝刊・夕刊のチェックをしています。先ほど申し上げた5割というのが大体新聞で把握できている分です。その他にケーブルステーション福岡でどのくらい取り上げられたかによって、もう少し率は上がると考えています。
- (会 長) 委員のおっしゃる通り、成果指標は提供件数より掲載件数の方がよいと思うので、検討していただきたい。
- (委 員) 春日市のLINE登録者数が多いのは、市報をLINEに載せていることが要因だと考える。また、SNSは世代によって使いやすい媒体が違うので、どこに標準を合わせて発信するかで利用者のニーズが変わってくる。
- (会 長) LINE登録者数の増加は、これからの時代の市内向け広報広聴という点では非常に重要になってくるのではないだろうか。LINEやTwitterでなるべくリアルタイムに、プッシュ型でお伝えするということが、これからの時代の大きな流れになってきている。
- 春日市のLINE登録者が多い理由を把握されているか。
- (所管課) ワクチン接種の申し込みをLINEで受け付けたかどうかで登録者数が大きく違うのではないかと思います。特に春日市はワクチン接種以外にも、ごみに関することや道路の不具合の通報などを業者と連携してLINEで行えるようにしているので、そこが強みだと思います。
- (会 長) 春日市のような事例を参考にして取り入れていくことで、LINEの登録者数が増えると思う。ごみや道路など様々な場面でLINEを活用できるのであれば、そこには少し事業費をかけてもいいのではないかと。
- 所管課としては、LINE登録者数を増やすことをどのように考えているか。
- (所管課) 所管課としては、登録者数を増やしていきたいという思いですが、現時点では事業費をかけられていないですし、プラスの機能も付けられていない状況です。
- (会 長) 春日市のLINE構築・運用費用について、本市での導入可能性を把握するために情報収集して、次回までに概算で良いので、示してほしい。

- (所管課) 春日市の情報を入手することは可能だと思います。ただ、今のところ各課から LINE のプラス機能を持ちたいという要望はありませんので、事業費をかけて機能の構築は行っていないというところです。
- (会 長) 各課に LINE を使って実施したいことを照会してもらって、結果は簡単な羅列でも構わないので、次回委員会までに併せてご用意いただきたい。
- (委 員) 市の LINE を使っているが、広報最新号が出たというメッセージが送られてきたことがない。
- (所管課) 筑紫野市としては広報紙が発刊されるたびにメッセージを送るとブロックされる可能性が非常に高いということで、タイムラインという通知されない機能で掲載するようにしています。
- (委 員) 春日市はワクチン接種の申し込みの際に登録者が増えただけで、現在は受信していない人もいるものと考えられる。登録者数はブロックを含む人数であるため、それほど気にしなくていいのではないか。発信回数や内容を精査していく方が重要だと思う。
- (会 長) 同じ人に 1 週間に何通以上メールが届かないように社内でメールを送る頻度を決めている企業もある。これは LINE で送る方がよい、これは広報紙で十分だ、という情報のセレクトが秘書広報課の重要な仕事だと思う。マイナンバーカードを取得すると 2 万円もらえるので、これからマイナンバーカードを申請する人が増えると考えられる。要するにきっかけが必要ということなので、例えばマイナンバーカードを作りに来た時に、LINE のお友達登録もしてくれたら一定額のクオカードをお渡しする、というのも一つの手段である。
- (委 員) 成果指標の魅力発信ページのアクセス件数が令和 4 年度に急に 2 万件に上がっているのはなぜか。
- (所管課) このページは令和 3 年度末の 3 月頃に開設したため、令和 3 年度の件数は少ないですが、今後はたくさん見てもらいたいという希望も込め 2 万件に設定しています。
- (会 長) 令和 4 年度は現時点ではどのような状況か。
- (所管課) 令和 4 年度もひと月あたりの件数は令和 3 年度とほぼ同数ですので、半年分だと 1200 件程度になります。見せ方にも少し工夫が必要だと感じていますので、改革案として魅力発信ページの制作を委託してもっと見栄えの良いものを作れないか検討しているところです。
- (副会長) アクセス件数 2 万件の根拠は何か。
- (所管課) 市ホームページの上位 10 位程度までのページのアクセス件数を平均して算定しました。
- (副会長) 市トップページの画像が流れているバナーからしか魅力発信ページを見られないのがもったいない。魅力発信ページはこちらというバナーが固定であったほうがよいのではないか。
- 広聴の基本事業の成果指標が移動市長室の成果指標になっているが、目

標値 140 回というのは事務方が尽力すれば達成できる数字なので、達成できるように努めてほしい。移動市長室をやって終わりではなく、関係課にフィードバックし、出された意見に対してきちんと返事をしていくところまでやっていただきたい。

(所管課) 移動市長室は、団体の活動報告について掘り下げてお聞きするような形式で実施しているため、明確な要望のようなものはあまり出てきていませんが、そのやり取りの中でこの事業についてはもっと深めていくべきだ、団体の支援をもっと進めていくべきであるという話があります。

(委員) 私も要望を出したことがあるが、その時に返事をもらえていたら、また一段と活動できたのではないかと思う。返事がいただけると活動の場が広がっていくと思うので、ぜひ返していただくようお願いしたい。

(副会長) 移動市長室の際、同席する職員の認識が甘いとただの取り組み報告になり大切な意見や要望などを聞き流してしまう。広聴事業ということで職員の意識を高めて取り組んでほしい。

(委員) プレスリリースについては、メールで一斉送信しているということか。

(所管課) メールと FAX で一斉送信しています。

(委員) 日本経済新聞は全国紙だが結構ローカル記事も掲載するので、一斉送信リストに追加してはどうか。

(所管課) ありがとうございます。検討させていただきたいと思います。

(会長) 今はインターネットメディアというのも増えてきているので、記者発表のリストを時代に合わせて見直したり拡充したりしてもいいのではないか。

魅力発信ページの制作は、どのようなところに委託しようと考えているか。

(所管課) 今のところは、ホームページの業務自体を委託している業者などを想定しています。

(会長) コンテンツ集めとホームページ制作をセットにして考えなければ、全く更新されないホームページになってしまう恐れがある。もしも自分たちでコンテンツを用意できない、あるいは行政目線になって堅苦しいコンテンツしか出てこない、というのであれば、コンテンツとセットで制作してくれる委託先を探したほうがよい。

地域系の情報紙を作っている会社に委託すると、足でかせいだ情報を持っていて、彼らも自分たちの情報紙に載せる情報をこちらにも転用して使えるので一石二鳥である。

(所管課) いいヒントをいただきましたので、これから検討していきます。

(会長) 市民編集者のような方法や若手職員に対して人材育成や研修も含めて、1人年2回記事を執筆してもらうというような方法もある。

市内向けの広報広聴と市外向けの広報広聴が一つの事業に混在しており、事業を分割してそれぞれの成果の設定、評価をすべきである。

- (委員) Instagram や Twitter でハッシュタグを上手く使った方法があるとよい。まずは SNS で筑紫野市のことを気になってもらって、それからホームページにつながるような方法がよいのではないか。新しく魅力発信のホームページを作っても二分化しては意味がない。
- (会長) ホームページは移住定住を考えている人に筑紫野市のサービスなどを伝えるという公的な部分もあるので、魅力発信は SNS で行っていくということも考えられる。やはり市内と市外で分けて考えていかないと、ターゲットが曖昧になってしまう。
- (副会長) 地元シティ情報紙系メディアは、情報収集力が非常に優れており、県でも活用している。その分事業費はかかるが、費用をかけるだけの価値があるものになる。豊前京築が好きという Facebook ページや京築丸ごとナビというサイトのように、住民の方を味方につけていく手法も検討できる。
- (会長) 今までは財政再建が本市の経営課題であったが、これからは筑紫野市もっと伝えていくという次の経営課題に対応していく必要があるのではないか。

⑤ 「つくしちゃん」積極活用事業（総務課）

所管課による自己紹介及び事業内容の説明

- (委員) 「つくしちゃん」の市民以外の認知度はどの程度か。
- (所管課) 市民アンケートで指標を把握しており、市外の方の認知度は不明となっています。
- (委員) 市外の方の認知度を測る方法として、民間では全国ゆるキャラランキングなどがあるが、そのようなものには参加しているか。
- (所管課) 現在、そのような催しが開催されていないため、参加していません。
- (会長) シティセールスの役割も非常に大きいので、市外の方の認知度を取得できるようであればお願いしたい。例えば、市外から市内の高校や大学に通っている学生に対してスマホ等を活用したアンケートを実施すれば、安価に把握できるのではないか。
- (委員) 「つくしちゃん」の LINE スタンプやピンバッチも新バージョンが更新されていない。ブラッシュアップして意識し続けてもらうことが必要ではないか。
- (委員) 「つくしちゃん」のページを見たが、4月に更新されたきりしばらく更新がなく、次に更新されたのが9月だった。これは公的な部分で着ぐるみを使った場合のみを掲載しているということか。
- (所管課) ホームページには、着ぐるみを使用した団体からホームページへの掲載を許可してもらったもののみを載せています。そのため、4月から9月の間は全く貸し出しがなかったというわけではなく、掲載を許可しなかった団体がなかったということです。市民個人の肖像権保護の点から、

掲載許可が出ずにホームページの更新ができない場合があります。

- (委員) せっかく活動しているのに、全然活躍していないように見えてしまうので、写真はなくても何かしら掲載はあったほうがよいのではないか。
- (会長) 「つくしちゃん」の出勤記録をきちんとつけると、何も仕事をしていないようには見えない。あるいは貸し出したときに「つくしちゃん」とイベントの看板や会場、事務局との写真を必ず提出することを貸出条件に入れられるのではないか。
- (所管課) 写真の依頼については、おっしゃられたような改善の余地があると思います。
- (委員) 大野城市のキャラクター「大野ジョー」ように、筑紫野市を紹介する時に「つくしちゃん」を活用すると市のPRにもなるし、幅広いところに露出することで知名度も上がると思う。
- (会長) 着ぐるみ出動隊は何名いるのか。
- (所管課) 30名程度います。
- (会長) 着ぐるみ出動隊の職員が出動する際は業務として行くということか。
- (所管課) はい、そうです。
- (会長) 「つくしちゃん」の着ぐるみは何体あるのか。
- (所管課) 3体あります。用途によって動きやすいものや空気を中に入れるタイプの夏バージョンなどを使い分けています。クリーニングにも出さなければなりませんので、3体を回しながら使っているところです。
- (委員) パペット型のような小型で写真写り込み用などのタイプがあってもよいのではないか。着ぐるみは中に入る人とサポートする人も必要になるが、パペット型であれば気軽に使いやすい。
- (副会長) 「つくしちゃん」の横に座っているこのキャラクターは誰か。
- (所管課) 「つくしちゃん」ファミリーのお兄ちゃんです。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、「つくしちゃん」という家族構成になっています。
- (副会長) 名前はあるのか。
- (所管課) 名前はありませんので、そのままお兄ちゃんです。
- (会長) 名前の募集も検討できるのではないか。
- (副会長) 名前もないキャラクターには親しみを持たないので、今後本当に活用していく気があるのであれば、名前を付けて「つくしちゃん」とセットで活動させるなど、もう少しプロモーションが必要だと思う。
- (委員) 「つくしちゃん」の図案を考えているのは市職員か。
- (所管課) 以前「つくしちゃん」活用の検討委員会を作っていて、その中でイラストが得意な職員などから募集をして作成しました。
- (委員) 中学校には「つくしちゃん」が制服を着ている制服バージョンがある。市内にある保育園などにもそのようなものを作って提供してはどうか。
- (委員) 「つくしちゃん」の利用にあたっての手続きや条件は複雑なのか。

- (所管課) 「つくしちゃん」を使っていいかという問い合わせがあった場合は、どのように使用するか教えてもらい、よほどおかしい使い方でない限り、ほとんど許可しています。
- (会 長) シティセールスという観点でいうと、例えばインテルという半導体メーカーが自社の半導体を活用したノートパソコンに「インテルのシール」を貼り、PRしている。筑紫野市も企業などに一定の費用をかけ、パッケージや包装紙に「つくしちゃん」のイラストを掲載してもらう方法も考えられる
- (委 員) ゆるキャラブームなどの影響で、キャラクター像が段々と変移してきている中で、「つくしちゃん」ができたのが平成4年ということもあり、前時代的なキャラクター像になってしまっているのではないか。「つくしちゃん」は可愛らしいけど、市民の心に刺さる感じのキャラクターになっていない。例えば、小さい会社がブランディングするときには、全部を底上げするのではなく長所や特徴など突出した部分を訴求していく方法をとる。筑紫野市は全国で考えると大きくはない自治体なので、ブランディングということを考えると、絞り込んだ訴求（打ち上げ花火を上げるようなこと）や、「つくしちゃん」に何か別の要素を加除しながら、コンセプトを再度考えていくということが必要だと思う。
- (会 長) 愛媛県だと、「みきちゃん」というみかんのキャラクターがいるが、その裏バージョンということで真っ黒い悪いキャラクターの「ダークみきちゃん」がコンセプトとして追加され、状況に応じた使い分けがされている。委員がおっしゃられた意見は、ストーリー性をもたせることが現在は重要であるとの意味と思われる。そのため、民間企業のキャラクターのTwitterでは、俗に言う「中の人」が、キャラクターが喋っているように投稿して、キャラクターを生かしている。筑紫野市は「つくしちゃん」の「中の人」を置いているか。
- (所管課) 「中の人」は置いていません。
- (会 長) 「つくしちゃん」のSNSはあるか。
- (所管課) ありません。
- (会 長) SNS ではなくホームページでもいいが、「つくしちゃん」そのもののキャラクターを立てるようなことも必要かもしれない。
所管課としては「つくしちゃん」の事業を実施するにあたって苦慮していることはあるか。
- (所管課) 「つくしちゃん」は市制施行 20 周年の際に市民公募で募集して作られたという経緯があるため総務課が所管になっていますが、総務課自体が市民や市外の方に向けてシティセールス的な発信をするような事業をおこなっている部署ではないので難しい面があります。
- (会 長) 「つくしちゃん」の事務分掌は、広報部門がよいのではないか。事務分掌の移管についても外部評価委員会として協議していきたい。

5. 事務連絡

事務局より次回会議の開催日程等を説明。

6. 閉会

12:25閉会。